



7月5日開催の初心者スポーツ教室(硬式テニス)で撮影

石狩テニス協会

いしかり 市議会だより



こんなことが決まりました	2
一般質問	4
委員会活動だより	13
石狩市議会政務活動費収支報告 概要	15
全国市議会議長会 表彰状の伝達／ 「いしかり市議会だより」を10言語で読む	16

こんなことが決まりました



第2回臨時会 (4月22日)

傍聴者0人

令和3年第2回臨時会は4月22日に開催され、
補正予算などを審議しました。

◆◆◆ 補正予算 ◆◆◆

令和3年度一般会計の主な補正

○総務費 2,800万円

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生推進事業費
- ・(仮称)川下・柏木地区集会施設整備事業費

○民生費 5,767万3千円

- ・低所得の子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費

○消防費 1,700万円

- ・石狩北部地区消防事務組合負担金

◆◆◆ 第2回臨時会 議決結果 ◆◆◆

全会一致で決まったこと

●令和3年度補正予算 ・石狩市一般会計補正予算（第1号）

●承認 ・専決処分につき承認を求める件（石狩市税条例等の一部を改正する条例）



第3回臨時会 (5月31日)

傍聴者1人

令和3年第3回臨時会は5月31日に開催され、
補正予算、条例改正などを審議しました。

◆◆◆ 補正予算 ◆◆◆

令和3年度一般会計の主な補正

○総務費 2億6,833万2千円

- ・一般管理事務費
- ・情報化推進事業費
- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生推進事業費

○民生費 6,205万3千円

- ・生活困窮者自立支援事業費
- ・介護保険事業特別会計繰出金
- ・低所得の子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費

○農林水産業費 360万円

- ・農業担い手確保対策モデル事業費

○土木費 7,648万1千円

- ・道路橋りょう維持費
- ・河川維持費
- ・公園維持管理費

○教育費 1,354万6千円

- ・スポーツ施設改修事業費

令和3年度石狩市国民健康保険事業特別会計の主な補正

○前年度繰上充用金 2億円

令和3年度石狩市介護保険事業特別会計の主な補正

○総務費 258万5千円

- ・福祉施設人材確保事業費

◆◆◆ 第3回臨時会 議決結果 ◆◆◆

全会一致で決まったこと

●令和3年度補正予算 ・石狩市一般会計補正予算（第2号）

・石狩市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

・石狩市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

●条例等の一部改正 ・石狩市介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例案

●その他 ・工事請負契約締結の件（議案第5号・議案第6号）

・石狩市教育委員会委員任命について同意を求める件



第2回定例会

(6月11日～30日)

傍聴者23人

令和3年第2回定例会は20日間の会期で開催され、補正予算、条例改正などを審議しました。

補正予算

令和3年度一般会計の主な補正

- 総務費 4億6,316万7千円
 - ・財産管理事務費
 - ・(仮称)川下・柏木地区集会施設整備事業費
 - ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生推進事業費
- 民生費 5,971万9千円
 - ・新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業費
- 衛生費 300万円
 - ・保養センター管理運営費
- 商工費 1,000万円
 - ・企業誘致推進事業費

- 土木費 4,262万円
 - ・道路橋りょう新設改良事業費
 - ・公園維持管理費
 - ・公園改修事業費
- 教育費 490万円
 - ・スポーツ振興事業費
 - ・小学校施設整備事業費

令和3年度石狩市国民健康保険事業特別会計の主な補正

- 諸支出金 80万円
 - ・直営診療施設勘定繰出金

令和3年度国民健康保険診療所特別会計の主な補正

- 医業費 240万円
 - ・医療用機械器具費

第2回定例会 議決結果

全会一致で決まったこと

- 令和3年度補正予算
 - ・石狩市一般会計補正予算(第3号)
 - ・石狩市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
 - ・石狩市国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)
- 条例等の一部改正
 - ・石狩市職員のサービスの宣誓に関する条例等の一部を改正する条例案
 - ・石狩市個人情報保護条例の一部を改正する条例案
 - ・石狩市個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例案
 - ・石狩市、厚田郡厚田村及び浜益郡浜益村の廃置分合に伴う地域自治区及び地域自治区の区長の設置に関する協議書に定められた事項を変更する条例案
 - ・石狩市税条例の一部を改正する条例案
 - ・石狩市証明等手数料条例の一部を改正する条例案
 - ・石狩市営住宅条例の一部を改正する条例案
 - ・石狩市議会会議規則の一部を改正する規則案
- その他
 - ・人権擁護委員推薦について意見を求める件(長谷川 洋子氏、石黒 隆一氏、今野 順子氏)
 - ・市道路線認定の件
 - ・財産の取得の件
- 意見書
 - ・学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを適切に進めるための意見書
 - ・地方財政の充実・強化に関する意見書
 - ・2021年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
 - ・義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現に向けた意見書
 - ・「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書
 - ・保健所機能の抜本的強化を求める意見書
 - ・北海道を高レベル放射性廃棄物の最終処分場にしないことを求める意見書
 - ・林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

会派の態度が分かれたもの

	石政	改革	共産	公明	無	採決結果
●令和3年度補正予算	○	○	○	○	×	可決
●その他	○	○	○	○	×	可決
	○	○	○	○	×	可決

(石政:石政会所属議員7人 改革:改革市民会議所属議員6人 共産:日本共産党所属議員3人 公明:公明党所属議員2人 無:無所属議員1人)

一般質問

6月17日



石政会

やま だ とし ひと
山田 敏人

Q 新型コロナウイルスのワクチン接種について

A 迅速に完了するよう鋭意取り進める

問 ①感染力が強い変異株が確認された状況では、既に始まっているワクチン接種を加速して多くの人が集団免疫を獲得することにより新型コロナウイルスを封じ込められるよう期待しています

答 ①感染力が強い変異株が確認された状況では、既に始まっているワクチン接種を加速して多くの人が集団免疫を獲得することにより新型コロナウイルスを封じ込められるよう期待しています

②感染者施設職員、保育や福祉施設職員、廃棄物収集員などエッセンシャルワーカーといわれる方への優先接種について市の考えを伺います。

答 ①医療従事者向けのワクチンは5月22日までに全て入荷され、およそ1400人の接種がほぼ完了し、高齢者向けは7月中旬までに全て入荷される見通しで、7月末日をめどに接種を取り進めます。また、接種完了の見通しは新たに12歳から15歳までも対象となったことから接種計画の組み立てができておらず、現時点で示すことができませんが、市民への接種が迅速に完了するよう取り組みたいと思います。

②接種は国が公表した順位で行っていますが、高齢者等が居住する社会福祉施設等の従事者も入所者と同じタイミングで接種を開始しており、この後は訪問介護事業所等の従事者への準備を進めます。なお、その他の接種順位については教職員や保育士などへの接種を検討しているところです。(市長)

Q 狂犬病の予防接種について

A エリア設定の在り方を検討

問 ①市で毎年実施する狂犬病予防注射の巡回接種が新型コロナウイルスの影響で旧石狩市域では中止となり、市内動物病院で行うこととなりましたが、現在、市に畜犬登録されている頭数と接種率を伺います。

答 ①市で毎年実施する狂犬病予防注射の巡回接種が新型コロナウイルスの影響で旧石狩市域では中止となり、市内動物病院で行うこととなりましたが、現在、市に畜犬登録されている頭数と接種率を伺います。

②コロナ収束後は従来どおりの巡回接種を行うのか、また、接種場所を増やす考えはあるか伺います。

答 ①市で登録した畜犬の頭数は令和2年度末時点で4035頭、狂犬病予防注射の接種率は56%です。

②集合接種(巡回接種)中止による接種率の地区別の影響は、市街地は地域内に動物病院が開業しているため約3%の減少でしたが、市街地以外は約10%減少したことから、コロナ収束後も集合接種を継続する必要があると考えており、業務委託先の北海道獣医師会の意見も伺いながら、エリア設定の在り方を検討していきたいと考えています。(環境市民部)

Q 石狩市のエネルギー施策について

A 各種事業を推進し地域活力を創出

問 ①今後、コロナ禍からの回復期にはエネルギー需要の増大が見込まれると思いますが、再生可能エネルギーである洋上風力発電促進区域の指定に関して現在の取り組み状況を伺います。

②新型コロナウイルスの影響で停滞した社会経済の復興と地球温暖化対策を同時に目指すグリーン・リカバリーの

考え方が世界的に注目される中、環境先進都市の本市もこの観点から持続可能なまちづくりを推進すべきと考えますが、市の考えを伺います。

答 ①促進区域の指定は現在、国が「既に一定の準備段階に進んでいる区域」と「有望な区域」にそれぞれ整理するため関係省庁などと協議しているものと承知しており、本

市では7月頃に公表される結果を注視している状況です。(企画経済部)

②グリーン・リカバリー理念である環境対策と経済成長の好循環を達成するには技術開発や導入コストなど課題もありますが、未来に向けた投資も重要で、国などの補助金や環境まちづくり基金などの財源の活用も必要なほか、市民の意識を高めるための環境教育も重要と考えています。(市長)

その他の質問

- 新型コロナウイルスの経済対策について
- 新港地域での都市計画の見直しについて
- 北海道漁港実験施設の活用について
- データセンターの誘致について
- 花川通の開通について
- 花川北地区の公園樹木伐採後の植樹について
- 石狩市花川中央地域包括支援センターについて
- 自治体のデジタル化について
- 修学旅行中止に伴うキャンセル料について

一般質問

6月17日



改革市民会議

かな や さとし
金谷 聡

Q 新型コロナウイルスのワクチン接種について A 迅速な接種完了に向け適切に取り組む

問 ①ワクチン接種は新たに12歳から15歳までも対象となりましたが、接種時期や接種方法を市ではどのように計画しているのか伺います。

②日常生活の維持に必要な働き手である警察官や交通、食品などの業種に携わるエッ

センシャルワーカーの方へ優先して接種を行う自治体もあり、本市も実施すべきと考え

ますが、市の考えを伺います。

③一般市民に向けたワクチン接種クーポン券の発送はいつ頃を予定しているか伺います。

答 ①5月31日付けでファイザー社製ワクチンについては12歳から15歳も新たに対象に加えるよう国から指示

がありましたが、接種方法など詳細な検討はこの後に行

うこととなり、まずは16歳以上の接種を着実に進めていきたいと考えています。

②社会を支えるエッセンシャルワーカーの方々には感染危機に直面しながらもその職を全うされており敬意を表したいと思いますが、集団接種等で対応できる数に限りがあることや、教育保育現場での感染を防止するため、現時点では教職員、保育士等への優先接種を検討しています。

③一般の方への接種券の発送については現段階で時期を示すことができませんが、早急に発送できるよう取り組んでいきたいと思っています。
(市長)

Q リモート授業の予行演習について

A 段階的な取り組みで活用向上を図る

問 今後さらなる感染拡大が起きた場合に備え、自宅に居ながら授業を受けられるよう、昨年度、GIGAスクール構想に伴い児童生徒に1人1台配備された端末の活用によるリモート授業の予行演習が必要になると考えますが、通信状況の把握など確認しておくべき事項について市の考えと計画を伺います。

答 オンライン授業の実施に向けては段階を



▲1人1台端末を使つての授業風景

る準備として夏季休業時に自宅へ持ち帰り、インターネット回線の接続や学校との接続を確認し、休業明けには端末で学べるAIDの家庭での活用も開始する予定です。また、教員には各種研修のほか、民間企業が提供する情報の共有等を通じ、活用指導力の向上に取り組んでいきます。

(生涯学習部)

踏んで取り組む必要があり、まずは端末を家庭で使用する

Q これからの図書館の在り方について A 先進自治体事例の情報収集に努める

問 電子図書館は、どこからでも24時間365日閲覧が可能で、音読機能などによる障がい者支援に加え、貸出業務の軽減、書籍の劣化防止など利用者と図書館の両方にメリットがあります。また、人と人との接触を避けること

ができ感染予防の観点からも導入すべきと考えますが、市の考えを伺います。

答 電子図書館の導入には購入可能なコンテンツの不足や使用制限に伴う高額な稼働コスト、システム導入費用など課題もあるため、他自治

体の導入事例の情報収集に努めながら市民図書館として魅力ある蔵書の構築にしっかりと取り組みたいと思います。
(市民図書館長)

その他の質問

■コロナ禍での芸術家支援策について
■マクンベツ湿原の案内看板について

一般質問

6月17日



日本共産党

まつもと きくえ
松本 喜久枝

Q コロナ感染対策と市の経済支援について

A 接種を順次進め市独自の事業を実施する

③クラスター防止のため市が今後計画どおりに進んでいくか伺います。

問 ①新型コロナウイルスの感染者数について本市は札幌市を除く石狩管内の総数で北海道から発表されていますが、市民の不安を解消し、感染拡大防止のためにも市内陽性者の実数を公表することが大切だと考えますがいかがですか。

答 ①感染者数の公表についてこのたび見直しが行われ、今後は毎日発表する振興局ごとの感染者数に加え、週に一度、市町村ごとの7日間累計感染者数を発表することになりました。6月28日から北海道のホームページで公表されますが、本

市でも同様の内容を市のホームページに掲載し市民に情報提供を行います。

②現在、接種は国の順位に基づき医療従事者等はほぼ完了し、高齢者も目標の7月末の完了に向け取り進めているところです。また、今回新たに12歳から15歳までの接種対象が追加されたことから今後の接種計画はまだ組み立てができていませんが、迅速に完了するよう取り組んでいきます。

③教育、保育従事者等への

ワクチンの優先接種については現在、検討を進めている段階です。また、定期的なPCR検査は国が都道府県に介護従事者等への積極的な実施を示しており、先ごろ抗原簡易キットの配布も始まりましたが、本市でも高齢者施設等が自費で検査を行った場合は費用を新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金の補助対象とするなど、積極的な検査の実施を推奨しています。

④現在、市では休業支援金の早急な支給に努めており、また、消費喚起を促すため、飲食店や小売店などで利用できる市内事業者応援チケット事業の準備を進めています。なお、休業要請を受けていない業種にも国や北海道の支援金制度があるほか、資金繰り支援融資や雇用調整助成金など各種支援策を利用して事業を継続していただきたいと考えます。

(企画経済部)

(副市長)

Q 「生理の貧困」問題について

A 生理用品の無料配布を行う

問 ①新型コロナウイルスの影響で収入が減少し、生活必需品である生理用品を買えない「生理の貧困」が社会問題化してきている中で、交付金などを活用して必要とする方へ無料配布する自治体が増えており、本市でも早急に取り組むよう求めますがいかがですか。

るよう女子トイレへの生理用品の配置を検討してもらいたいと思いますが、市の考えを伺います。

答 ①市では今年度、国の地域女性活躍推進交付金を申請していますが、北海道家庭生活力ウンセラークラブ石狩地区に委託して新たに女性相談の機会を増やすとともに、生理の貧困対策として必要とする方へ生理用品の無料配布を行いたい

と思います。

(環境市民部)

②現在、市内の小中学校では児童生徒からの申し出により保健室等で生理用品を無償で配布していますが、気兼ねなく入手できるよう今は学校の女子トイレに生理用品を配置している自治体の情報を収集するとともに、ニーズや課題を確認するため市内にモデル校を設置することを目指し、学校と調整していきます。

(生涯学習部)

一般質問

6月17日



公明党

えん どう のり こ
遠藤 典子

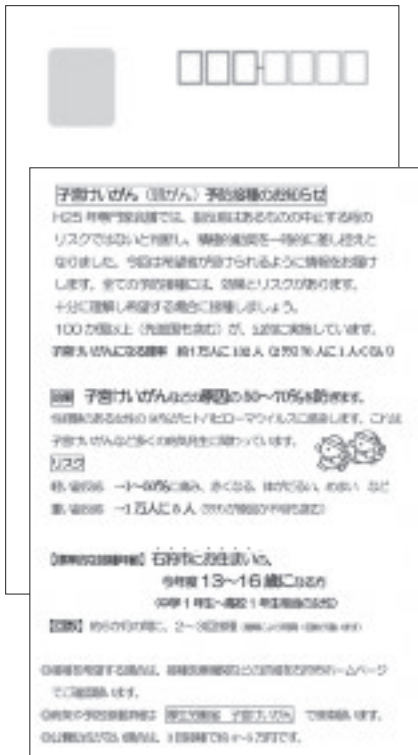
Q 子宮頸がん予防接種の情報提供について A 国の通知を踏まえ今後も適切に取り組む

問 自治体はワクチンの正しい情報を対象者に周知する役割を担っていますが、今回、市が送付したはがき1枚のお知らせでは不十分であり、接種するかどうかが検討判断ができる情報提供はどのようなものか伺います。

答 昨年10月、国は積極的な勧奨とならないよう留意した上で対象者が接種の検

討判断ができるようリーフレット等を個別に通知することとを市町村に求め、本市では約800人の対象者に厚生労働省のホームページへのアクセス方法を記載したはがきで通知を行いました。他の自治体例も参考にしながら引き続き、適切な情報提供に努めます。

(市長)



▲子宮頸がん予防接種のお知らせ

Q 学校でのがん教育のさらなる推進について A 関係機関と連携して学習内容の充実を図る

問 ①現在、小中学校ではさまざまな授業を通してがん教育が進められていますが、その中で外部講師がどの程度、活用されているのか伺います。

②自らの健康を適切に管理するというがん教育の目的からも、中学校の授業ではがんの予防や早期発見について自分のこととして理解を深

めながら、この学習が家族と一緒に検診を考える機会につながる内容とならないか考えを伺います。

答 ①外部講師の活用は道教委と連携して市内の小中学校で医師による出前授業を行い、令和元年度は4校で実施しました。昨年度は感染症の影響で実施が見送られました。この出前授業は

Q 市民に優しいデジタル化の促進について A 講習会開催など効果的な取り組みを検討

問 ①申請や予約など市の行政デジタルサービスの活用を促進するため、利用方法を学べる講習会や出前講座を開催する考えはありますか。

②LINEでの道路不具合箇所のお知らせは送信のみ、システムではなく、意思疎通のために返信が必要だと思えますが考えを伺います。

答 ①市ではオンライン手続きの活用を図るため操作方法などを理解していただく機会も必要と認識しており、講習会などの開催も含めて効果的な取り組みを検討します。

②LINEでの道路通報は通報者との意思疎通が図れるように他の自治体事例も参考に、双方向のシステム構築について検討します。

③接種に関する状況が日々変化する中ではリアルタイムの情報提供が困難な状況でしたが、今後はチャットボットやホームページなどを活用し、現状や見通し等について正確で迅速な情報提供に努めていきます。

(副市長)

子どもたちが内容を家族で共有するなど大変有意義な学習となっています。

②中学校ではがんの要因や早期発見の重要性を学習した上で自らの生活の見直しにつなげる活動を取り入れており、そのことが自身の予防やその後の検診計画につながっていくものと考えています。

(生涯学習部)

その他の質問

■サイクリングコースの景観整備について

一般質問

6月18日



石政会

たか だ しず お
高田 静夫

Q 花川南地区の道路舗装事業について

A 引き続き整備を進め環境改善を図る

問 花川南地区の道路は昭和50年代に簡易舗装が行われましたが、その後、老朽化によるひび割れなどが目立つようになつたため市は平成25年度から再整備を実施していますが、現時点での事業の進捗状況と今後の見通しについて伺います。

答 本事業は今年度末の見込みとして全体延長約75kmのうち約8kmの実施となり、進捗率は約10%ですが、水たまりなど舗装面の劣化状況を十分把握していることから今後も道路環境改善に向け、事業促進に努めていきます。
(建設水道部)

Q マイナンバーカードの普及拡大について

A 市民が取得しやすい環境の確保に努める

問 5月にデジタル改革関連法案が成立し、公的な給付金を迅速に届けるための制度が創設されましたが、申請の記載ミスなどによる給付遅れを防ぐためにもマイナンバーカードの取得は有効で、今回の法改正を市民に分かりやすく周知することも取得率向上に効果があると考えます。そこで、現在の本市のカード取得率と今後どのように取得率を上げていくのか考え方を伺います。

答 本市のマイナンバーカードの交付件数は本年5月末

Q 除排雪事業の検証と方向性について

A 各事業の効果等を踏まえ実施を検討

問 市は昨年度、見通しの悪い交差点の雪山対策やバス路線のきめ細やかな除排雪に加えて、新たな取り組みとして生活道路での間口処理付きの日中除雪やダンプロックの一定期間の借り上げを実施していますが、各事業の検証と今後の方向性について伺います。

答 交差点の雪山対策は、幹線・準幹線の交差点で特に

見通しの悪い箇所を部分排雪することで、明らかに見通しが良くなり道路交通の安全性を確保できたことから、今年度も継続したいと考えています。バス路線のきめ細やかな除排雪は、頻繁な拡幅除雪や優先的排雪作業の実施でバスの定時運行を確保できました。試験的に行った間口処理付き日中除雪は、対象町内会にアンケートを

行ったところ課題も見つかり現在検証中ですが、今後も町内会との情報共有を図りながら事業の方向性を決めたいと思います。ダンプロックの借り上げは、幹線や細街路の排雪作業を円滑に進めることができ効果が見られたことから今年度は借り上げ期間の延長と台数の増について改めて検討し、取り進めていきたいと考えています。
(建設水道部)



▲マイナンバーカード(見本)
(内閣府HP「マイナンバー 社会保障・税番号制度 概要資料」より)
(<https://www.cao.go.jp/bangouseido/ad/explain.html>)

現在で1万6464件、人口に対する交付率は28%となつています。取得向上には平日の交付に加え、夜間や日曜日の窓口を本庁舎に開設してきましたが、マイナポイントの付与による急激なカード交付数の増加に伴い4月から事前予約なしで交付できるようにしたほか、土曜日にも窓口を開設するなどより多くの市民に交付できるよう体制を整えています。市民への周知は市のホームページや広報のほか受付窓口での対面による説明なども行い、

今後もカードを取得しやすい環境確保に努めます。
(環境市民部)

その他の質問

■農業の振興策について

一般質問

6月18日



改革市民会議

かた ひら かず よし
片平 一義

Q 新型コロナウイルスに対する市の組織について A 担当増員など状況に応じて適切に対応

問 市は1月に新型コロナウイルス感染症対策課を新設し、職員は専属あるいは兼務の形で日夜、膨大な関連業務に追われていると聞いていますが、各種支援やワクチン接種など

日々目まぐるしく変わる情勢に対応するためには臨機応変な組織体制が必要であり、想定できない非常事態が起きた際にはどのように対応していくのか考えを伺います。

答 本市では感染症対策に同課職員のみならず、これまで部署の垣根を越え、職員一丸となって取り組んでいます。ワクチン接種業務については長丁場になると想定し、6月からは集団接種会場の運営に当たる会計年度任用職員を増員するほか、担当課についても状況を検討しながら増員を行っており、引き続き、組織体制は機を逃さず適切に対応していきたいと考えています。
(副市長)

Q 高岡五ノ沢地区の旧山谷家について A 登録有形文化財の手続きを進めている

問 五ノ沢地区で広く農業を営んでいた山谷家の住宅は、はりや柱を生かした改装が施され、ゆつたりと宿泊できる古民家の宿として活用されています。周辺には明治時代に建てられた木造の蔵や戦前の軟石造りの蔵も残されており、これらの建築物は歴史的・文化的な

価値付けも可能ではないかと思われませんが、教育委員会の見解と今後の保存についてどのように考えているか伺います。

答 現在、山谷家に残されている蔵はともに建築年次がはつきりしており、保存状態も良好であることから歴史的・文化的な価値は高いものと考えています。また、宿泊施設のほか展示室としての活用も行われていることから内部の改修や建物の用途について自由度が高い国の文化財登録制度を利用して、登録有形文化財として積極的に生かし、保存していくことが望ましいと考えており、所有者の意向も確認した上で手続きを進めているところです。
(教育長)

Q 子母澤寛生誕130周年記念事業について A 明年1月末の開催後は常設展示等も検討

問 来年2月1日は本市出身の国民的作家、子母澤寛の生誕130周年に当たりますが、厚田という風土が生み出した偉大な小説家を顕彰することは石狩市民のプライドを醸成するとともに、児童生徒の郷土愛への教材的意義があると思います。また、石狩の観光と文化の発信を促進するため、市として

記念事業の他に何らかの行事を行う予定があるか伺います。

答 市では多くの市民に子母澤寛の功績に触れてもらえるよう関係者の協力をいただきながら厚田支所と連携して記念事業を開催したいと考えており、現時点での主な内容は新たに入手した自筆原稿などの展示のほか、

感染状況を見極めながら記念講演会の検討も進め、開

催時期は年明け1月末から数週間を考えています。さらに記念事業終了後にも来館者が子母澤寛の世界に触れることができ



▲子母澤寛

(市民図書館長)

その他の質問

■国際交流について

一般質問

6月18日



日本共産党

はち や みつ お
蜂谷 三雄

Q 沿岸バス路線の存続について

A 関係市町村と連携し取り組む

問 沿岸バスが運行する都市間高速バスましか号は新型コロナウイルスの影響で一時休便となっています。沿線住民の貴重な交通機関でありコロナ収束後も存続できるような取り組みを強く求めますがいかがですか。

答 市は令和2年度に新型コロナウイルス感染症対策経費への支援として石狩市公共交通支援事業補助金交付要綱を一部改正し沿岸バスに補助を行っていますが、引き続き増毛町などの沿線市町村や事業者と連携し、路線存続に向けて努力していきます。

(環境市民部)

Q 子どもの国保税の引き下げを

A 今後見込まれる支出増から困難

問 来年度から国保の就学前乳幼児の均等割が半額となることが決定し、制度の進化を大いに歓迎していますが、本市の令和2年度決算見込み額の8800万円の黒字を活用し、前倒しで実施する考えはないか伺います。

答 国保事業は控除額の激減等により令和3年度以降は大幅な支出増が見込まれるため現在の黒字決算を安定運営の財源として基金に積み立て今後に備えることが重要と考えており、ここ数年の黒字額を原資に就学前乳幼児の均等割半額を前倒しすることは困難なものと考えています。

(保健福祉部)

Q 洋上風力発電開発について

A 再エネの主力電源化に貢献

問 ①洋上風力発電開発は市民全体にかかわる大きな政策決定であると同時に、次世代にも及ぶことから住民の合意形成は重要と考えますが、その対応について伺います。

②環境省事業で人や動植物への累積的影響を加味した風力発電ゾーニング計画で環境保全エリアを設定していますが、促進区域として情報提供したエリアと完全に重なり整合性に欠けています。この矛盾にどう対応するのか伺います。

③ゼロカーボンシティを宣言した市として既設の陸上風力や太陽光発電による排出と削減の実質量はどのように評価測定していますか。また、大規模洋上風力開発はゼロカーボンとの関係からもCO₂排出削減が実質どうなるか想定評価を市民に公表する必要があると考えますがいかがですか。

④不安定な風力や太陽光は蓄電等の変換調整に膨大なコストも必要となり、再エネ

賦課金の名目で消費者の負担は昨年度で3・8兆円にもなっています。CO₂の吸収環境が豊かな本市で風力がSDGsの持続可能なエネルギーミッションとなり得るのか認識を伺います。

答 ①本事業には期待や不安などさまざまな意見があることを承知しており、これらの声は有望な区域の選定後に設置される法定協議会へ伝え、地域住民、事業者、行政の相互理解が図られることを望んでいます。

(市長)

②平成29、30年度に実施したゾーニングは漁業協同組合の当時の考えを尊重し設定しましたが、情報提供は昨年11月に組合から促進区域の候補地として情報提供をお願いする要望書が出されたことを踏まえたもので、マップ上で環境保全エリアである区域は現在、組合と調整が済んだエリアであり問題はないと認識しています。

(企画経済部)

③CO₂の実質削減量は市内の既存再エネ施設での測定は困難ですが、石狩市地球温暖化対策推進計画で当該施設は地域のCO₂排出削減に貢献していると位置付けています。洋上風力発電のCO₂排出削減量の想定評価は事業計画が認定される過程で出力規模等が市民への公表を含め明らかになることでCO₂の削減量の算定も可能になると考えています。

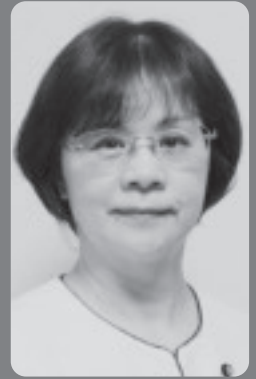
(環境市民部)

④市では本事業が3月に策定した第3次石狩市環境基本計画の理念にかなないSDGsの開発目標達成にも貢献するものと考えています。一方、課題解決には国が導入コスト削減に向けた目標を明確に掲げ施策を推進しており、市では今後もゼロカーボン社会の実現を目指し積極的に再エネの導入拡大に努めていきます。

(市長)

一般質問

6月18日



公明党

あべ ゆみ こ
阿部 裕美子

Q 労働者協同組合法の成立を受けて

A 地域での多様な新事業の展開に期待

問 ①昨年12月に成立した労働者協同組合法には組合員が出資と経営、労働を担い、事業方針を決定する際にも平等に1票を行使できることが定められています。志を持って自分たちで地域を良くしていくという人たちの活躍の場の拡大が期待されますが、この新たな働き方について市の考えを伺います。

答 ①やりがいを感じられる仕事を自ら創造し、運営にも関わりながら主体的に働くという新たな労働形態が介護福祉などの担い手確保につ

ながることや、NPO法人よりも広い分野を担える利点

Q コロナ禍での女性の負担軽減について

A 女性相談の機会を増やし支援に努める

問 ①女性相談窓口や学校での生理用品配布の要望については、配布を検討するとの答弁がありましたが、配布物の中に相談窓口の案内を入れて他に困り事があつた場合に次の支援につなげるための工夫ができないか伺います。

答 ②経済的な悩みその他にDVなど寄り添った支援が必要な女性への対応

を生かし、地域の多様な要望に応えられる事業展開にも期待しています。

②この法律は成立後2年以内に施行され、今後は国で省令と指針を策定する予定となつていきます。市では引き続き情報収集に努め、支援策についても適切に対応したいと思ひます。
(市長)

には、同じ状況にいる者同士が支え合うピアサポートの仕組みが必要であり、援助を要する状況にありながら申し出をしない方を発見した場合には、積極的に対象者の所へ出向くアウトリーチでの支援も必要になると思ひますが、市の考えを伺ひます。

答 ①市では新たに女性相談の機会を増やすとともに、必要とする方へ生理用品の無料配布を行います。が、周知の方法はホームページや広報など各種媒体を活用して支援が行き届くよう取り組みます。

Q ヤングケアラーの支援について

A 地域の関係機関と連携し取り組む

問 ①国の調査でヤングケアラーと呼ばれる18歳未満の子どもたちが病気のある家族の世話などに追われている実態が明らかになりましたが、相談窓口の明確化とSNSやメールを活用した支援体制の整備に取り組む考えはありませんか。

②助けを求めているヤングケア

ラーにいち早く気付き支援につなげるためには、学校や医療機関などが情報共有を行ひながら取り組むことが必要だと思ひますが、考えを伺ひます。

答 ①ヤングケアラーの相談窓口は子ども相談センターと教育委員会が連携して情報を共有しながら進めますが、国は2022年度からの3年間でヤングケアラー認知度向上の集中取組期間としているため、本市でもホームページ等で広く周知し、支援体制についても今後検討したいと思ひます。

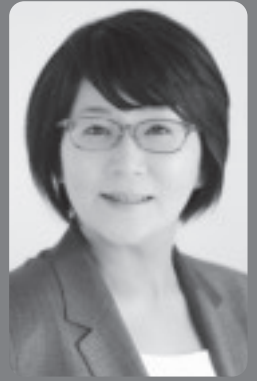
②子ども相談センターが運営する要保護児童対策地域協議会は多様な機関で構成され、所管を超えた連携を行うための組織体となっていますが、この協議会を中心に、まずはヤングケアラーに関する周知啓発を図ることと各機関の理解度を高め、早期発見につなげられる環境整備に努めます。
(保健福祉部)

その他の質問

■自殺者対策について

一般質問

6月18日



無所属
(市民派議員の会)

くましろ ちかこ
神代 知花子

Q (仮称)八の沢風力発電計画について

A 環境保全は国の審査等で適切に対処

問 住民説明会の実施から既に5年が経過したこの計画は現在、評価書が縦覧中にもかかわらず、事業者は当別変電所まで自営線を通すため、住民に対して電柱設置の承諾書を求めて回っており、住民からは何の事業か分からないなど戸惑いの声が上がっています。市は送電ルートも含めた事業の全体像について、地域住民に説明することを事業者に再度強く求めるべきではないですか。

答 送電線における電柱設置については住民への説明と承諾に関する法的な義務はなく、事業者が自主的に近接住民への承諾を求めているところですが、住民への説明は事業者が戸別に対応していると同っています。また、説明会の開催は事業者が判断するものと考えており、市として事業者に求める考えはありませんが、これまで同様、地域から要望があった際には事業者に伝えることとしています。

(環境市民部)

再質問 風力発電の建設にはふさわしくない環境保全エリアに開発が行われていく現状をどう考えますか。また、市は工事や稼働に対して、厳しい監視と指導の立場を取るべきではないですか。

再答 当事業は本市の風力発電ゾーニング計画策定前の計画であるため、さか

のぼって再評価できないと考えており、自然などへの配慮についても国の審査による適正な対処のほか、運行後でも事業者は環境影響評価事後調査の中で、引き続き、環境保全措置を講じるとしており、必要に応じて適切に対処されるものと認識しています。また、工事等にかかる監視について市では当事業は一般的な事業活動と認識しています。

(環境市民部)

Q 新幹線残土受け入れの考え方について

A 機構の調査で安全性は問題ないと認識

問 市内に運び込まれる新幹線残土が安全な無対策土だと鉄道・運輸機構が町内会に示した資料は令和元年度の環境影響評価事後調査結果のコピーで、現況のものでありませんでした。また、近隣には学校もあり、グラウンドでの体育の授業など教育環境が心配です。こうした住民の不安や問い合わせに応じるため、市は機構に対し

Q 地下高圧線埋設工事について

A 個別の問い合わせは事業者で対応

問 (株)GPIによる風力発電事業の地下高圧線埋設工事が市内で行われていますが、高圧電線の架線下では地価の下落や電磁波の健康被害などが懸念されていることから、事業者は工事内容について近隣住民軒・軒に対し丁寧な説明を行い理解を得られるよう企業努力すべきであり、市

て科学的な根拠となる資料を提出するよう正式に申し入れるべきであり、さらに市内受け入れ残土の土壌溶出基準など事後調査についても依頼すべきではありませんか。

答 土壌の調査は鉄道・運輸機構が実施している工事の中で順次行われており、結果についても適切に公表・情報提供がされているものと考えていることから、市として機

は事業者にどのように求めるか考えを伺います。

答 市道での高圧線埋設工事は道路占用の許可を行い、手続きは道路法と本市道路占用許可基準によって行われますが、住民への同意は法的要件とはなっていません。また、占用の場所には事業者名を記載した表示板が掲示されており、工事の状況も含め個別具体的な問い合わせは事業者に直接対応していただけるものと考えていることから、市として説明会の開催などを求める考えはありません。(副市長)

構に対して土壌の成分証明などの資料等を求める考えはありません。また、機構は国土交通省所管の独立行政法人であり、トンネル発生土に関する地質調査等についても法に基づき適切に行われていると考えていることから問題はないと認識しています。(環境市民部)

その他の質問

■花川通延伸について

● 委員会活動だより ● 4月～6月 ●

総務

常任委員会

(4月12日、5月21日、6月22日開催)

●4月12日の委員会では、「さっぽろ連携中枢都市圏ビジョン」の改定の報告を受けました。

「さっぽろ連携中枢都市圏ビジョン」は、札幌市と経済・社会・文化・住民生活等において密接な関係を有する11市町村との間で形成したさっぽろ連携中枢都市圏において、中長期的な圏域の将来像を示すとともに、その姿を共有しながら将来像の実現に向けた具体的な取り組みを計画的に推進するために策定したものです。

毎年度、各事業部局による連携事業の取り組み・推進と併せ、実務担当者会議、関係首長会議、有識者によるビジョン懇談会において情報共有、協議、効果・検証を行い、必要に応じて改定を行うこととしています。今回は連携市町村のニーズを踏まえ具体に取り進める連携事業を3事業追加し、全体で50事業となりました。

追加事業の一つ目は「道内における関係人口の創出に向けた取組の推進」で、さっぽろ圏ふるさと応援隊を企画・実施し、圏域住民と道内市町村をつなぐことによるまちづくり活動の推進等、関係人口の創出に向けて取り組むものです。

二つ目の「地域公共交通の維持・向上に向けた取組の推進」は、市町村の区域を越えた広域的な地域旅客運送サービスの提供確保に向け、北海道と連携して地域公共交通計画の策定に取り組むものです。

三つ目の「自治体行政のスマート化に関する検討」は、圏域内における自治体の垣根を越えた行政サービスのオンライン化の推進、事務の共同処理等の実現可能性について検証を行うものとの説明を受け、質疑応答を行いました。

●5月21日の委員会では、使用料の改定の報告を受けました。

使用料及び手数料等については、時間の経過による維持管理コストの増加等に伴い、本来設定すべき金額との乖離が生じる可能性があることから、市の基本方針において定期的な料金見直しのサイクルをおおむね3年ごとと定めています。

前回、見直しを行った平成29年度以降、消費税率の引き上げ等を踏まえ令和2年度中に次期見直しに向けた調査・検討を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響を勘案し検討を見送ったところです。

いまだ新型コロナウイルスの終息が見通せない状況ではあるものの、前回改定時から5年が経過し、この間の消費税率引き上げ、維持管理コスト増加の状況を踏まえ、受益と負担の公平性の観点から次の方針に基づき改定を行うこととしました。

方針の一つ目として、コロナ禍における市民生活や地域経済の状況を鑑み、多くの市民に直接的な影響を与える事務手数料、例えば窓口で発行する証明手数料等の見直しは行わないこととしています。

二つ目として、施設使用料については料金設定から相当期間が経過しているもののほか、他市の状況や関連施設との整合性の観点等で見直しが必要な施設に係る使用料の改定を行うこととしています。

改定案は、改定施設の検討に当たり、原価計算による維持管理コストを把握するため施設の実態調査を実施し、その調査結果に基づき負担の公平性と適正化を図るため改定が必要と思われる施設を抽出した上で、料金設定後の経過年数のほか近隣他自治体の状況や市内他施設との均衡等を踏まえた内容としています。

改定案の審議は石狩市使用料、手数料等審議会で諮問を行い、パブリックコメントで意見を募集した後、再度審議会において審議の上で答申を受ける予定であり、改定案の実施時期は令和4年4月1日施行予定であるとの説明を受け、質疑応答を行いました。

その他の主な調査項目

- 石狩北部・増毛サイクルルートプロモーション動画について
- 石狩市公共施設等総合管理計画実施計画について
- 新型コロナウイルス感染症対策の取組状況について
- 国勢調査の速報値について
- 予定価格が130万円を超える工事の発注状況について(令和2年12月1日～令和3年3月31日)
- 予定価格が130万円を超える工事の発注状況について(令和3年4月1日～5月31日)
- 令和2年度建設工事発注状況について
- 令和2年度物品等発注状況について

議会改革推進

特別委員会

(4月21日開催)

主な調査項目

- タブレット端末の導入について
- 質問対応の在り方について
- 閉会中の常任委員会の所管事務調査について

●5月20日の委員会では、令和2年度除排雪事業の報告を受けました。

令和2年度の除排雪事業については、改善ポイントとして令和元年度に引き続きバス路線のきめ細やかな除排雪、交差点の雪山対策などを掲げ、新たに間口処理付きの日中除雪、ダンプトラックの一定期間の借り上げなどを行いました。

新雪除雪の新たな取り組みとして試験的に実施した間口処理付きの日中除雪については、緑町内会、あさひ町内会を対象として、通常の新雪除雪を午前9時～午後3時の間で間口処理付きで行いました。

両町内会全戸に日中除雪についてのアンケート調査を実施したところ、来シーズンも日中除雪を続けた方がよいと回答した方が4割弱、やめた方がよいと回答した方が約5割という結果になりました。

例年、夜間に行っていた除雪を日中に切り替えたことで生じた問題や、そもそも間口処理の認識に違いがあったなどのさまざまな課題が見つかったため、今後、間口処理付きの日中除雪をどのように取り進めていくかを検討します。

ダンプトラックの一定期間の借り上げについては、受託者である石狩市道路維持事業協同組合が、除雪用の10トンダンプトラック23台を1月4日～2月6日のうち30日間借り上げ、排雪を行うものです。

当初は積雪の量にかかわらず、常に幹線・準幹線を排雪する予定でしたが、年末年始の大雪により、借り上げたダンプトラックは通常どおりの幹線排雪として使用されました。

幹線排雪終了後は、引き続き生活道路の排雪へと移行しましたが、生活道路の排雪を開始した当初はダンプトラック1セット分を借り上げていたため、排雪作業が早まり、2月13日に対象とする全ての町内会の排雪を終えることができました。

今年度は借り上げ期間の延長及び台数の増が望まれており、今後については受託者と協議し、期間や台数などについて

改めて検討しつつ取り進めていきたいとの説明を受け、質疑応答を行いました。

●5月20日の委員会では、令和3年度石狩市立学校の児童生徒・学級数の報告を受けました。

令和3年5月1日現在、小学校全体の児童数は2,895人、学級数は普通学級110学級、特別支援学級24学級となっています。昨年度と比較した場合、児童数は75人減、学級数は普通学級、特別支援学級ともに増減なしです。

また、中学校全体の生徒数は1,653人、学級数は普通学級55学級、特別支援学級15学級となっています。昨年度と比較した場合、生徒数は31人増、学級数は普通学級が1学級増、特別支援学級が2学級増となりました。

ここ数年は児童生徒ともに減少傾向にあり、毎年児童生徒合わせて100人ほどの減少幅でしたが、今年度は全体で44人減少となっています。

各学校における学級編成については、令和2年度までは国の基準により小学校1年生は1クラス35人学級、それ以外は1クラス40人学級となっていました。今年度からは小学校1年生及び2年生が35人学級となりました。

また小学校3年生、4年生及び中学校1年生については、北海道独自の取り組みである少人数学級実践研究事業の対象であり、35人の学級編成となっています。本市では花川小学校、南線小学校の3年生、花川中学校、花川南中学校の1年生がこの措置の対象となっているとの説明を受け、質疑応答を行いました。

その他の主な調査項目

- 札幌圏都市計画用途地域の変更について
- 石狩市水道事業経営戦略の改訂について
- 石狩市生活排水処理基本計画の改定について

第2回定例会までに届けられた意見書については次のような結果になりました。

意見書名	審議結果
学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを適切に進めるための意見書(案)	本会議提案
地方財政の充実・強化に関する意見書(案)	本会議提案
2021年度北海道最低賃金改正等に関する意見書(案)	本会議提案
義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現に向けた意見書(案)	本会議提案
「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書(案)	本会議提案
保健所機能の抜本的強化を求める意見書(案)	本会議提案
北海道を高レベル放射性廃棄物の最終処分場にしないことを求める意見書(案)	本会議提案
林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書(案)	本会議提案
化石燃料やリスクを抱える原発に依存しない脱炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギーの更なる推進を強化する政策転換を求める意見書(案)	審議未了
地域を活性化し、若者が地元でくらせる!全国一律最低賃金制度の創設を求める意見書(案)	審議未了
地域医療構想を見直し、実情に応じた医療体制の確立を求める意見書(案)	審議未了
米の需給改善と米価下落の歯止め策を求める意見書(案)	審議未了
2021年度最低賃金改正等に関する意見書(案)	審議未了

※意見書については、議会運営委員会で審議し本会議で議決します

※審議未了とは、議会の会議に付託された議案等の案件が当該会期中に決着せず、継続審査の決定もされずに会期を終えるに至った場合のことです

●5月19日の委員会では、特殊詐欺等被害防止対策事業に係る対策機器無償貸与申請状況の報告を受けました。

本事業は、高齢者に対する電話による特殊詐欺・悪徳商法等による消費者被害を未然に防止することを目的に、機器の設置を希望する65歳以上の市内在住者を対象に自宅の固定電話に接続して使用する特殊詐欺等被害防止対策機器を無償貸与するものです。

貸与台数は50台、貸与期間は6年間として、広報いしかり、町内会の回覧版、市のホームページで周知をしています。申請期間は5月17日～31日とし、5月19日現在の申請件数は37件です。これまでの問い合わせ状況を考えると、今後も申請件数が増えていくと考えられます。なお、申請件数が多数の場合は抽選としています。

また、機器を貸与される方に対しては、市が実施するアンケート調査の協力、録音データの提供を求めることとしているとの説明を受け、質疑応答を行いました。

●6月23日の委員会では、新型コロナワクチン接種体制確保の報告を受けました。

ワクチンの供給状況について、高齢者向けのワクチンは6月13日までに28箱、今後7月までにさらに12箱の供給を受け、合計40箱が供給される予定です。1箱でおおよそ1,000人分のワクチンとなるため、これで高齢者おおよそ2万人の2回分となっています。

高齢者向けのクーポン券は、4月26日から80歳以上の方に発送し、その後、5月24日に75～79歳、6月3日に70～74歳、6月16日に65～69歳の方に順次発送をし、総数20,348人のうち既に予約済みの方は14,888人(6月22日現在)で、73%となっています。また、65歳以上で1回目の接種を完了した方は10,758人で53%、2回目の接種を完了した方は4,144人で20%となっています。

高齢者施設の入所者及び従事者については順次接種を開始しており、7月までに2回の接種を終了する見込みです。さらに在宅の要介護高齢者や要支援高齢者への介護サービスを継続できるよう、居宅サービス事業所の従事者の接種を準備しています。

また、6月22日から基礎疾患を有する方の事前登録を開始したところです。

この後、厚田・浜益地区の高齢者の接種をさらに加速させるため、6月26日(土)・27日(日)、7月9日(金)、2回目の接種の7月17日(土)・18日(日)・30日(金)の計6日間、厚田保健センターにおいて大規模な接種を行うこととしています。厚田・浜益地区においては、会場までの送迎バスを運行して足を確保する考えとの説明を受け、質疑応答を行いました。

※新型コロナワクチン接種体制確保については、4月、5月、6月の毎月、厚生常任委員会に報告がありました。

石狩市議会政務活動費収支報告 概要

令和2年度、石狩市議会における各会派に交付された政務活動費の収支報告書の概要をお知らせします。

政務活動費は議会における会派(所属議員が1人の場合を含む)に対し、所属議員1人当たり年額20万円が上半期と下半期に分けて交付されます。

単位:円(執行率以外)

会派名	交付額 (A)	研究 研修費	調査 研究費	資料作成・ 購入費	広報・ 広聴費	事務所費	その他の 経費	合計 (B)	返還額 (A)-(B)	執行率 (B)/(A)
石政会 (7人)	1,400,000			60,000			54,340	114,340	1,285,660	8.2%
改革市民会議 (6人)	1,200,000		361,312					361,312	838,688	30.1%
日本共産党 (3人)	600,000			24,084	57,321	184,000		265,405	334,595	44.2%
公明党 (2人)	400,000				36,666		26,507	63,173	336,827	15.8%
無所属(加納 洋明) (1人)	200,000				18,334			18,334	181,666	9.2%
無所属(神代 知花子) (1人)	200,000	8,412	9,740	54,550			62,231	134,933	65,067	67.5%
合計	4,000,000	8,412	371,052	138,634	112,321	184,000	143,078	957,497	3,042,503	23.9%

☆議会では情報公開推進のため、政務活動費で支出した領収書と、視察・研修等を行った場合には行程表及び視察・研修報告書をホームページで公開しています。

全国市議会議長会 表彰状の伝達(6月11日)

第2回定例会本会議開会に先立ち、全国市議会議長会表彰状の伝達を行いました。



市議会議員
10年以上表彰者
花田 和彦 議員

市議会議員
10年以上表彰者
上村 賢 議員

「いしかり市議会だより」を 10言語で読むことができます

パソコンのブラウザやスマホ・タブレットのアプリで、デジタルブックの「いしかり市議会だより」を配信しています。日本語のほか英語、韓国語、中国語(繁体字・簡体字)、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語が対応していますので、知り合いに外国の方がいる場合や、外国の方が働いている企業の方などはご利用ください。

また、音声読み上げ機能がありますので、仕事や家事などをしながら聞くこともできます。

ご利用の場合は、QRコードからアプリ「カタログポケット」をダウンロードしてください。

※アプリは無料ですが、通信料は利用者負担です



定例会開催予定

次回の第3回石狩市議会
定例会は9月2日(木)から
開催を予定しています。

表紙の団体「石狩テニス協会」

毎週月曜19時30分~21時30分
にサン・ビレッジいしかりで初心者ス
ポーツ教室(硬式テニス)を開催し
ています。

問合せ 池田さん
☎090-2870-4137

議会広報特別委員会

委員	委員	委員	委員	委員長	委員長
佐藤	金谷	松本	遠藤	山田	大野
俊浩	聡	喜久枝	典子	敏人	幹恭

「夢」とは将来に対する目標や希望
のことで、例えば「なつてみたい人」
「やつてみたいこと」だったり「夢」と
いいます。では、「夢」はありますか？
スポーツ選手、看護師、先生など、
なりたい職業、または宇宙旅行をした
い、海外で住みたい、あるいは温泉に行
きたいとか、もつとと言うと、健康でいた
い、このままがいい、長生きしたいなど
の目標や希望が「夢」になりますか？
か？この「夢」を持つことは生きる中
でもとても重要ではないのでしょうか。
では「叶える」ためにはどうしたら
いいでしょうか？誰でも良いことも悪い
ことも口から「吐」きます。そこから
少しずつマイナスな言葉を取り除いて
いくと「吐」からマイナスがなくなり
「叶」えるになります。プラス言葉には
「ありがとう」「ツイている」「楽しい」
「素敵」「頑張る」等があります。普段
から使うことによつて気持ちも上向き
になっていきます。そうすることによつ
て「夢」が「叶う」のではないでしょ
うか。全ての人の夢が叶う世の中にな
るといいですね。

編集の窓

☆市議会だよりをご覧くださいありがとうございます。皆さまのご意見、ご感想をぜひお聞かせください。

石狩市議会の会議録をご覧ください

石狩市議会定例会と臨時会の会議録が閲覧できます。

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/ishikari/pg/index.html>

または市役所ホームページから、右側の石狩市議会をクリックし、会議録検索をクリック!

ERIS 議会の情報は「えりす いしかりネットテレビ」でも
ご覧いただけます! <http://www.i-eris.tv/>